

不戦へのネットワーク

連絡先／名古屋市中村区那古野1の44の17 嶋田ビル2F

Tel : 050-3593-5130

HP / <http://www.jca.apc.org/~husen/>

Eメール / husen@jca.apc.org

<https://www.facebook.com/antiwarnetwork>



連続講座「今は戦時体制？日本の現状を問う」

連続講座「今は戦争体制？日本の現状を問う」第1回

アフリカ中央部における紛争と
国連平和維持活動（PKO）
—なぜ自衛隊は南スーダンに派遣されたのか—

第1回

米川正子さん
立教大学特任准教授

プロフィール

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）職員として、コンゴ民主共和国、ルワンダ、コンゴ共和国、スーダンとタンザニアなどで約10年間、難民や国内避難民の保護や支援に従事。日本平和学会理事、研究分野は国際関係論、特にコンゴやルワンダの紛争、平和、難民や人権問題。主著は『世界最悪の紛争「コンゴ」—平和以外なんでもある国』（創成社 2010年）。

連続講座「今は戦争体制？日本の現状を問う」第2回

第2回

尖閣（釣魚島）と
領土ナショナリズムの魔力
～体制翼賛化する報道～
講演：岡田充さん

「尖閣諸島、領海に中国船隻が侵入」「尖閣諸島は日本固有の領土だ！」等々の報道が新聞紙上やテレビ、ネットなどをにぎわせ、国家主義を煽るタネとして利用される「尖閣」「竹島」の領土問題は、中国韓国と日本の労働者、市民を互いに「反日」「建中」「建韓」と煽りたてている。

岡田充さん紹介

1972年東北大学法学部卒業後、共同通信社に入社。香港、モスクワ、北京を転々とし、編集委員、編集長を経て2009年から共同通信言論委員、編集長大井常雄講師、安福大客員教授、法政大兼任講師を歴任。

主要著作

「中国と台湾—対立と共存の両神廟」(講談社現代新書 2003年2月)
「尖閣諸島問題—領土ナショナリズムの魔力」(産経社) 2012年11月

現在、21世紀中国研究のホームページにて「海軍の学識」を連載
<http://www.21ccs.jp/index.html>

2016年12月3日（土曜日）13時30分～16時30分
豊和青年会館第2会議室
知名古屋市中区栄1-18-8 地下鉄「伏見駅」下車、
口、西へ300m→名古屋東宝ビル角、南へ250m
800円

第3回

国策化する武器輸出
—武器輸出ビジネスの最前線から見えること—

日時：12月25日（日）午後1時半～4時半
場所：ウィルあいち セミナールーム1・2
講師：望月衣塑子さん（東京新聞社会部記者）

目次

- ★ 戦時体制づくりを止めよう
- ★ 沖縄にしっかり向き合おう！
- ★ 自衛隊南スーダンPKO派遣の背景 —国連・PKOの「変質」—
- ★ 個別的自衛権を否定して平和をつくれるのか？ —9条と尖閣・日朝問題を考える—
- ★ 右翼に蹂躪された 2016年8・6ヒロシマ
デマと妨害をはねのける反戦反核運動をつくろう！
- ★ 会計報告・編集後記

